重要ポイント

《形容詞》

１．人やものの性質や状態などを表す語を形容詞という。

This is a **new** bag.　　これは**新しい**かばんです。
This bag is **new**.　　このかばんは**新しい**です。

２．形容詞の使い方

① a **new** bag(**新しい**かばん)，an **old** house(**古い**家) などと名詞の直前において，その名詞の様子を具体的に説明する。a, an などの後ろに入ることも注意。

【例】This　is　a　**new**　bag.　　これは**新しい**かばんです。
名詞の前において名詞を修飾する。

② ～is **large** (～は**大きい**です)，～ are **long** (～は**長い**です) などと be 動詞のあとにおいて，主語の様子を説明する。

【例】This　bag　is　**new**.　　このかばんは**新しい**です。
be 動詞の後ろにおいて主語の状態を説明する。

３．いろいろな形容詞

① 対になる形容詞

large（大きい）⇔ small（小さい）
big （大きい）⇔ little （小さい）
old （古い） ⇔ new （新しい）
good（よい） ⇔ bad （悪い）
old （年をとった）⇔ young（若い）
long（長い） ⇔ short （短い）
tall （背の高い） ⇔ short （背の低い）

② その他の主な形容詞

interesting（おもしろい，興味を起こさせる ）　　popular（人気のある）　beautiful（美しい）
nice （よい，すてきな）　　happy（幸せな）　kind （親切な）
much （多くの，たくさんの）　　many （多くの）　busy（いそがしい）
much は数えられない名詞の量について用い，many は数えられる名詞の数について用いられる。

③ 色

green （緑の）　red （赤い）　white（白い）
yellow（黄色の）　blue（青い）　black（黒い）

重要ポイント

《副詞》

１．動詞を修飾したり，**very** のように**形容詞や副詞を修飾**する語を副詞という。

You speak English **well**.　　あなたは**上手に**英語を話します。

I am **very** busy.　　私は**とても**いそがしいです。

２．副詞の使い方

①　動詞・形容詞・副詞を修飾したり，頻度を表したりするために使う。

動詞を修飾　　She runs **fast**.　　彼女は**速く**走ります。

形容詞を修飾　　That picture is **very** old.　　あの絵は**とても**古いです。

副詞を修飾　　He speaks English **very** well .　　彼は**とても**上手に英語を話します。

頻度を表す　　She **often** plays tennis.　　彼女は**よく**テニスをします。

②　always, often, sometimesなど頻度を表す副詞は，ふつう一般動詞の前か，be 動詞のあとにおかれる。

【例】I **always** get up at seven.　　私は**いつも**７時に起きます。

I **always** busy.　　私は**いつも**いそがしいです。

③　here（ここに，ここで），there（そこに，そこで），today（今日），yesterday（きのう）など，時や場所を表すことばは一般的に文末につける場合が多い。

３．いろいろな副詞

①　主な副詞

hard（熱心に，一生けんめい）　well（よく，上手に）　much（多く，とても，たいへん）

fast（速く）　early（早く）　late（遅く）

②　頻度・程度を表す副詞

often（しばしば，よく）　sometimes（ときどき）　always（いつも）

usually（ふつう，たいてい）　very（とても）　＊very much で，「とても」の意味で使われる。

③　場所を表す副詞

here（ここに，ここで）　there（そこに，そこで）

④　時を表す副詞

today（今日）　yesterday（きのう）　tomorrow（明日）